

苗場山麓 ジオパーク

Vol.
77

振興協議会だより

〔発行日〕 令和 8 年 2 月 27 日
〔発行〕 苗場山麓ジオパーク推進室
〔お問い合わせ〕 025-765-1600



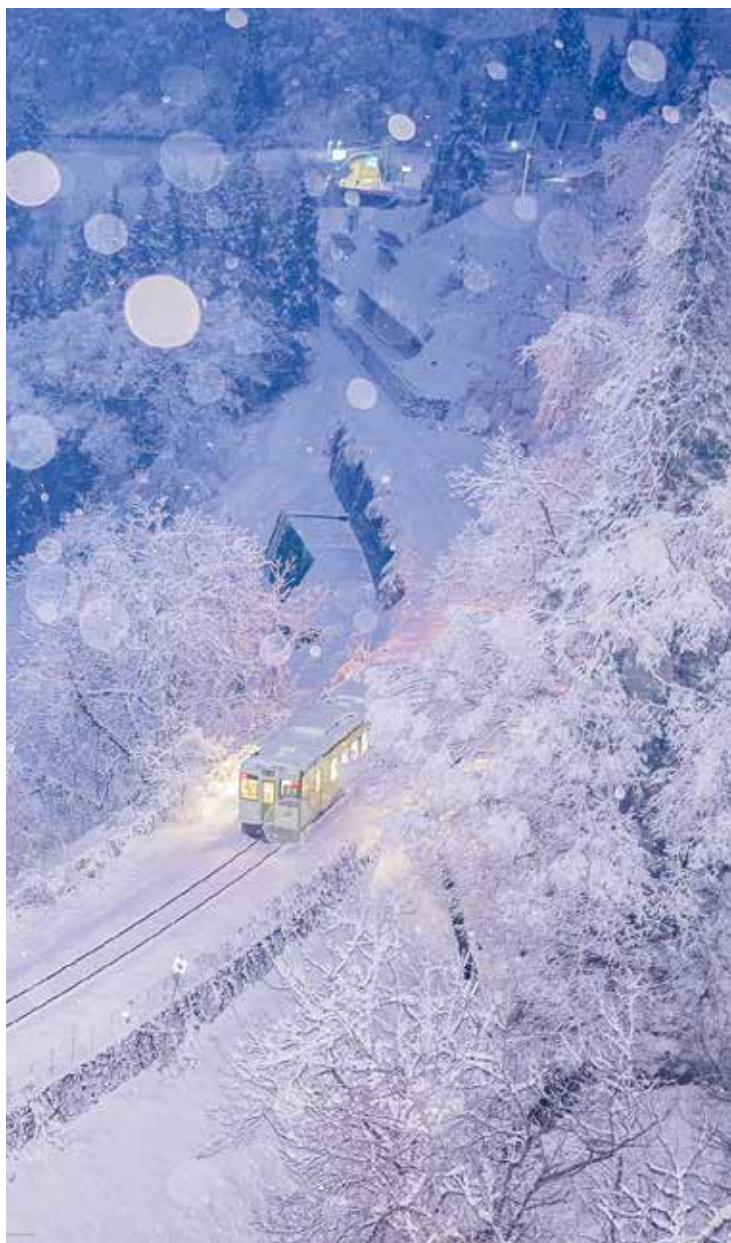
第 11 回苗場山麓ジオパークフォトコンテスト結果発表

1 月 29 日（木）、第 11 回目となる苗場山麓ジオパークフォトコンテスト審査会を栄村役場にて行いました。写真家やガイドなど審査員 8 名により、応募全作品 241 点の中から最優秀賞、各部門賞、各スポンサー賞が選出されました。入賞作品の結果は苗場山麓ジオパークのホームページ（<https://naeba-geo.org>）でご覧いただけます。

次回も皆様からのご応募を心からお待ちしています。



結果発表



最優秀賞「メルヘン列車」 桜沢 正司



春部門「遅い春」 樋口 正夫



夏部門「緋色の池塘」 鈴木 達也



秋部門「茜雲」 平野 悟



津南小学校3年生・総合学習発表会「感謝！おでんパーティ」に出席しました

2月13日（金）、津南小学校3学年の総合学習における1年間のまとめとして、学習発表会が開かれ、苗場山麓ジオパーク事務局も参加させていただきました。場所は津南小学校の「はばたきルーム」において、「かんしゃ！おでんパーティ」と題して、招待された方々におでんが振る舞われました。

おでんの調理に使われた大根は、2年生が畑で育てたものであることや、ウィナーは子どもたちのリクエストで津南ポーク特製のものを取り入れるなど、子どもたちの創意工夫が凝らされていました。おでんの準備をする中で、「大根の皮をむいて、切るのが大変だった」という感想がありましたが、とてもきれいに切られていて味もよく染み込んでおり、あっというまに食べきってしまうほど美味しかったです。

発表の場面では、子どもたちがこの1年、総合学習で活動してきた様子がスクリーンに次々と映し出されました。

天保の大飢饉で、飢餓に苦しむ集落を救った佐藤佐平治の紙芝居、ジオパーク学習で見玉不動尊へ訪れた時の写真や、川で生き物調査をした時の写真などが紹介され、地域のことを楽しく学べた1年であったことが伝わりました。そして最後は、招待した方々一人一人へ、子どもたちが感謝の手紙を読み上げてくれました。

新年度も地域を学び、知るための「ジオパーク学習」のお手伝いができるように進めていきたいと思います。



大根とちくわのおでん



つなんポークのウィナーが出現



感謝のお手紙をもらいました



学校給食でジオパークメニューが提供されました

1月19日（月）～1月23日（金）の5日間、津南中学校、津南中等教育学校において給食週間が実施されました。テーマは、「いただきます。おとなりの町のジオパーク探訪！」ということで、苗場山麓ジオパークと近隣のジオパークの特産品や郷土料理にちなんだ献立が、津南町学校給食センターから提供されました。どれも美味しそうですね！



1月19日(月) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク
ひすいつくね



1月20日(火) 佐渡ジオパーク
とき色ごはん



それぞれの地域の献立や特徴を紹介



1月21日(水) 浅間山北麓ジオパーク
こしね汁



1月22日(木) 立山黒部ジオパーク
ぶりのおろしあんかけ



1月23日(金) 苗場山麓ジオパーク
つなんポークのしょうが炒め

認定ジオガイド
が伝える

ここが好きだよジオパーク

認定ジオガイドがおすすめの場所、
もの、ことなどを紹介していきます。

斎藤 厚子さん



一番好きな「石落とし」（ガイドナンバー 80 斎藤 厚子さん）

苗場山麓ジオパークのガイドをさせていただくときの第一声は「苗場山麓ジオパークの町、津南町へようこそ。」と元気な挨拶から始まります。

お客様から「ジオパークって何？」と質問される事があります。そのときに「お客様が今いらっしゃる場所が日本有数の河岸段丘の一部分になっており、文字通り大地の公園ジオパークなのです。」と言いながら河岸段丘の写真をお見せします。

実は、苗場山麓ジオパークは奥が深いのです。平成 26 年 12 月、日本で 36 番目のジオパークとして認定され、ジオサイト 29 ケ所、エコサイト 4 ケ所、カルチャーサイト 4 ケ所、ビューポイント 7 ケ所、文化財 18 ケ所から成り立っています。

私が一番好きなサイトは、ジオサイト 10 番目の見玉不動尊の少し手前を右に入って進んだ場所にある石落としです。初めて訪れた際、このように美しい所があったとは…（溜息）。長い間、津南町に住んでいましたが、人生本当に損していたと思わずにはいられませんでした。翌年から毎年訪れており、友人、知人に魅力を伝えています。

石落としは、見玉公園内にあり、十数年前、見玉集落の有志の方々が「地域を楽しむこと」を目的に、雑木林だった場所を伐採し、遊歩道や展望台を自ら整備されたのが始まりとのこと。公園内には、池や四季折々の草花、昆虫、木々の観察ができます。同時に対岸の石落としの眺望は圧巻です。（見玉集落有志の皆様、関係者各位に感謝し、敬意を表します。）

石落としは、約 30 万年前に、苗場山の火山活動によって形成され、岸壁の高さは約 330 m、東京タワーとほぼ同じ高さと言われており、素晴らしい景色が望めます。遊歩道は途中までバリアフリー

になっており、車椅子でお出掛けすることが出来ます。

昨今、熊やカモシカなどが出没する可能性があるため、お出掛けの際は十分注意し、熊鈴、ラジオ、大勢でガヤガヤと大声で楽しくお出掛けいただければと思います。

見玉公園は秋山郷の入口です。その先にはもっとワクワクすることが待っているかも知れませんので、皆さんもご自分の「ここが好きだよジオパーク」を探しにガイドマップ片手に散策してみても如何でしょうか。

※苗場山麓ジオパークガイドマップは、津南町・栄村の色々なところに置いてありますのでお手に取っていただければ幸いです。（津南町：農と縄文の体験実習館なじょもん、埋蔵文化財センターうもれあ、栄村：歴史文化館こらっせ、震災復興祈念館「絆」など）



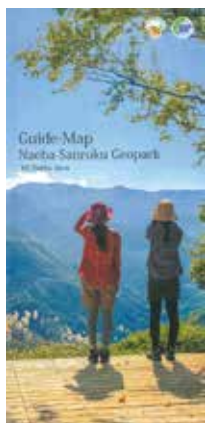
川の展望台から河岸段丘が一望できます



石落としと呼ばれる柱状節理



日本語版



英語版

お知らせ ※大勢でご参加お待ちしております！！

3月17日（火） 13:30～17:00 新潟圏域ジオパークガイド意見交換会
3月18日（水） 9:00～12:00 新潟圏域ジオパークガイド意見交換会
4月19日（日） 13:00～13:40 第11回苗場山麓ジオパークガイド認定証授与式
4月19日（日） 14:00～17:00 苗場山麓ジオパークガイド総会

場所：栄村 中条温泉「トマトの国」とその周辺
場所：栄村 中条温泉「トマトの国」とその周辺
場所：津南町総合センター
場所：津南町総合センター



突撃しよう！となりのジオ便り～五島列島ジオパークからこんにちは～

九州・長崎県の西の海上約 100 キロメートルに位置し、大小約 150 の島々からなる五島列島。その南西部にあたる五島市のほぼ全域と周辺海域をエリアとするのが私たちの「五島列島（下五島エリア）ジオパーク」です。

五島列島はどうやってできた？

五島列島は、約 2200～1700 万年前にユーラシア大陸の砂や泥が、川や湖で堆積した五島層群と呼ばれる白と黒のしましま地層がベース。その後の地殻変動で多くの断層が発生し、島と島との間の海峡や深い入り江をつくる要因となりました。さらに、約 100 万年前以降には火山活動が活発になり、粘り気の少ないサラサラした溶岩が流れ出し、平らな溶岩台地をつくり、現在の五島列島の姿が形作られました。ちなみに、最も新しい火山活動は約 2300～2400 年前とされ、福江火山群として活火山に指定されています。



立地や地形と関わりが深い五島の文化

8 世紀初頭から 9 世紀後半にかけて、遣唐使船が唐へと渡る際の日本最後の寄港地として利用され、中世には、東シナ海周辺を中心に活動した倭寇の拠点の一つとなるなど、大陸とのつながりが深く、その歴史や遺産は「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」として日本遺産に認定されています。

島のあちこちで美しい教会を目にするのが五島の特徴的な風景。江戸時代後期、長崎本土から多くの「潜伏キリシタン」が移住し、五島列島の多様な宗教文化の一つを構成。キリスト教の禁教政策がとられる中、人目につきにくい深い入り江に住み、ひそかに信仰を守り伝えた独自の宗教的伝統は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録されています。



旧五輪教会堂

多様な生態系には理由がある

島中に多くの椿が自生し、実から搾った椿油は、食用や化粧品の原料として利用されるなど、古くから人々の暮らしと密接に関わっていました。毎年 2 月頃には、椿の魅力を楽しむ「五島椿まつり」が開催され、島中が椿に染まります。他にも、暖かい対馬海流の影響を受けたハマジンチョウやアコウといった南方系植物、大陸と近かった時代の名残であるダンギクといった大陸系植物など、島の中で多様な植物に出会えます。

毎年 9 月中旬から 10 月上旬に見ることができるのが「ハチクマの渡り」。ハチクマは翼を広げると 1.3 メートルにもなるタカ科の鳥で、夏に日本で繁殖した後、五島列島に集まり、越冬のため大陸に向かって飛び立っていきます。

このように、大地の成り立ちに加え、大陸との関係が深い生態系や歴史・文化が数多く存在する多様性に溢れた五島列島（下五島エリア）ジオパークの魅力を、ぜひ、体感しに来てください。



大瀬崎



ハチクマ